

商店街をの魅力を**見える化**しよう！

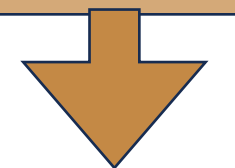
班員：有友 舞 池田 菜乃花 松浦 宗也 笠岡 勇斗 幸田 怜音
指導者：奥田久美

○ 宇和島の商店街の抱える課題

空き店舗が増え、人通りの減少や商店街全体の活気の低下が問題となっている。

○ 課題の設定理由

- ・どんな店があるのか分かりにくい
- ・入りづらい雰囲気がある
- ・地元の人でも各店舗の魅力を十分に知らないのかも！



どのようなお店があるのかを知ってもらいたい

地元の商店街にあるお店について知ってもらいたい

観光に来た人や地元の人にも商店街の魅力を十分に伝え、昔の活気を取り戻したい

目的の設定：宇和島商店街の魅力を「見える化」したものを作成し、地元の人や

観光客が商店街に足を運びたくなるきっかけを作ること。

○ 仮説 ≪商店街マップの作成≫袋町商店街のお店の紹介×マップ

商店街の各店舗の魅力や店主の思いをまとめた分かりやすい商店街マップを作成することで、**商店街への関心が高まり、来街者の増加につながるのではないか。**

マップに表示すること

- 自分たちの考えた店舗ごとのキャッチコピー
効果：興味がわくような内容にすることでそれを見る人を増やす
- お店の情報（場所・時間・価格 等）
効果：調べる手間を減らすことで行きやすくする
- おすすめ商品・今どきの映えポイント（写真映え／外観）
効果：「こんな商品が売っているんだ」とわかることができる。また、若者をターゲットにすることで自然に**S N Sでの宣伝**につながる
- 駐車場の場所



○探究方法

- ① 主に紹介する店舗を絞る
- ② 商店街を実際に訪問
- ③ 店舗の方へ**インタビュー**を実施
おすすめの商品、こだわり、伝えたい魅力など
- ④ インタビューを踏まえて、質問以外に自分たちが行ってみて感じたお店の良さを考える
- ⑤ 駐車場の情報調べ
- ⑥ 集めた情報をもとに、見やすい商店街マップを作成



○ 成果

- ・店舗ごとの魅力や店主の思いを知ることができた
- ・商店街には、まだ知られていない魅力的なお店が多くあることが分かった
- ・商店街マップを通して、商店街を身近に感じてもらえる可能性が見えた
- ・愛媛ならではの商品も見られたため、観光客の方に宇和島の魅力を知ってもらえると思った

☆例

【おのがみ菓子舗】

営業時間：9時～17時

定休日：木曜日

魅力：オリジナルの和菓子

宇和島のミカンを使用した和菓子

例）真珠のささやき・伊達ろまん

ブラッドオレンジを使用

人気メニュー：大判焼き <http://blog.livedoor.jp/wagashibuyer/>



○今後の課題

- ・地元の方や観光客にどのようにしてマップを見てもらうか
- ・実際に来街者が増えるかどうかの検証
- ・継続的に情報を更新する仕組みづくり
- ・若い世代の人が魅力を感じる言葉を知ること

○成果を出すための今後の予定

- ・実際にマップを作成し、人の目につきやすいところに掲示する
- ・S N Sや学校内での発信
- ・商店街の方と連携し、より実用的なマップへ改善していく
- ・マップを見た人への簡単なアンケート

